

平成26年度
学校評価書

新富町立上新田中学校

平成26年度 新富町立上新田中学校 学校評価書

4段階評価		4 とても良い 3 良い 2 少し悪い 1 悪い						
重点目標	評価指標	学校としての取組や反省	保護者	教職員	学校	委員会	学校関係者評価委員の意見	
1 家庭・地域との連携	1	学校は、各種のたよりやホームページ、保護者会等を通して、どんな子どもを育てようとしているかを分かりやすく伝えている。	○ いろいろな手立てで家庭や地域に情報発信を行っているが、まだ一方通行の状況であるため正しく伝わっているか疑問である。	3.26	3.40	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が落ち着いてきているのを感じた。 ○ 担任の先生が、生徒をサポートしてくれている。また、保護者に対してもしっかりと対応している。 ○ 先生たちは頑張っているの自信を持って評価しても良い。 ○ 学校が地域からの声を聞きたいという姿勢は大変良い。(各種の会合での情報提供、意見聴取等)を聞く事ができて良かった。 ○ 教材費未納についてはその対応の大きさが伺われる。 ○ 卒業生やその保護者へのアンケートや情報収集を行い、意見も吸い上げて学校評価に生かしても良いのではないかと。 ○ 体育大会、文化祭、立志式の素晴らしい様子を見ると陰で先生たちがきめ細かに指導していることがよく分かる。 ○ ホームページのアクセス数については、もう少し深く分析して欲しい。(利用機器、生徒なのか、保護者なのか、地域の方なのか、卒業生なのか等) ○ 保護者・地域との連携を図る取組を単なるイベントとしてではなく授業としてとらえていることはとても素晴らしいことだ。 	
	2	学校は、各種の便りやホームページや保護者会等を通して重点目標やどのように取り組むかについてわかりやすく伝えている。	○ 校長室便りや、ホームページでは学校の様子を知らせているが、重点目標については十分な周知はできていない。	3.31	3.33			
	3	学校は、保護者や地域の声や願いに応える教育を積極的に行っている。	○ 保護者からの声にはスピーディーに対応するよう努力している。地域の声を取り入れるためにさらにアンテナを高くしたい。	3.01	3.00			
	4	学校は参観日など、保護者や地域住民と意見の交流ができる機会を適切に設けている。	○ 参観日(87%、63%)やオープンスクールを計画的に実施した。地域の方への周知が足りなかった。	3.21	3.20	3.3		3.5
	5	学校はPTA会費や教材費など、保護者から集めたお金について適切に処理し、保護者にもきちんと説明している。	○ 学校にはお金を長期保管しない等取り扱いに注意を払い、適切な処理を行う事ができた。教材費未納の対応に困った。	3.45	3.43			
	6	教職員は、各種の便りやホームページ、保護者会等を通じて、子どもの生活状況や学級の様子を日常的に伝えている。	○ ホームページも5万アクセスを超え、情報発信を行う事ができた。学級通信についてはクラスによって頻度に差があった。	3.39	3.47	3.1		
	7	教職員は、生徒の良いことや気になることについて、電話や家庭訪問などで、家庭との連絡をきめ細かく行っている。	○ 家庭との連絡は担任だけではなく、部活動、保健室からも行った。保護者の中にはもっと細かいことでも情報を伝えて欲しいとの要望もあった。	2.83	2.93			
	8	子どものことについて、教職員に気軽に相談できる。	○ 学級担任には相談できないことも、養護教諭が適切に対応することができた。	2.88	3.13			
	9	保護者・地域との連携を図る授業や取組が適切に行われている。	○ 取組は行っているが、計画性が足りない。	2.98	3.07			

	重点目標		評価指標	学校としての取組や反省	保護者	教職員	学校	委員会	学校関係者評価委員の意見
2	生徒に自信をもたせる取組の推進	10	集団行動やあいさつがきちんとできるような指導を行っている。	○ 集会でのあいさつが徹底してきた。1分間スピーチや、各種表彰等で意図的に活躍する場を設定した。	3.29	3.27	3.2	3.5	○ 地域でも、生徒はとても気持ちの良いあいさつをしている。
		11	授業や行事等において、生徒が発表したり、活躍したりする場が十分に設定されている。	○ 授業中での活躍の場を増やしたい。	3.23	3.13			○ 体育大会で、少ない人数でもリーダーを中心に一生懸命取り組んでおり素晴らしい。
		12	生徒の活躍を紹介したり、ほめたりすることで、生徒が友だちや家族・地域の人から認められる場が多く設定されている。	○ リーダー研修会を実施したり、各種委員会活動で生徒が主体的に活動できるように場の設定をしたりすることで自信が持てるようになってきた。	3.18	3.20			○ 以前に部活動で敬老会の際に合唱をプレゼントさせて欲しいと言った。そんな活動が増えることを期待する。
3	きめ細かな指導による学力の向上	13	生徒が楽しく分かりやすい授業を実践している。	○ 指導方法を工夫して、3年の理科、社会も少人数指導を取り入れ授業を展開した。	2.98	3.20	3.0	3.0	○ 頑張りたい生徒のために先生たちは時間に関係なく頑張っている様子が分かった。
		14	一人一人の学力を伸ばすためのきめ細かな指導が適切に行われている。	○ 個別指導を随時行っているが、時間的な余裕が少なく、十分な状況ではない。	2.83	2.73			○ 計算力テストの結果は特に1年生は素晴らしい。2年生への指導も今後さらにお願したい。
		15	家庭学習のための課題が適切に与えられている。	○ 宅習や課題の提出状況は個人差が激しい。	3.03	3.00			○ 不登校生徒（不登校傾向生徒）の状況を聞く事ができた。
		16	子どもの個性をよく把握し、適切な評価がなされている。	○ 楽しい学校生活を送るアンケート(QU)により学級集団の状態や生徒の意欲、学級での満足度を測定し、その後の関わり方やアドバイスに役立てることができた。	2.87	3.20			○ 保護者と教職員の評価の差が大きい。学校の今後の対応が聞けた。
4	小学校との連携	17	小学校との連携を図る授業や取組が積極的に行われている。	○ 小中合同研修会は計画的に実施できた。サマースクールでは、小学生への授業もできた。 ○ 小中一貫校を見据え、さらに小学校との情報の共有化が必要である。	2.88	2.80	2.9	3.1	○ 小学生と一緒に活動を増やして欲しい。その中で、班分けを縦割り（小中混合）にして、中学生が小学生を引っ張って欲しい。
		18	小中学生が交流する機会が設定されており、授業や行事等で小学校との連携が図られている。	○ 菜の花プロジェクトでの交流は計画的に実施できた。鑑賞教室で保育園や小学校にも声をかけ、交流の機会を増やした。	2.85	2.87			○ 小中連携の保護者の評価が低いが学校の活動を親に周知して欲しい。

評価委員から出されたその他の意見や要望等

- 保護者と教職員の評価の差についてさらに分析をして欲しい。また、先生たちが頑張っていることを保護者は十分に知らないことがあるので、やっていることを知らせて欲しい。
- 今後は地域へ貢献する活動を考えてはどうか。（地域への恩返しの意味を込めて公民館に花を植えるとか。）
- 次年度も放課後の個別指導や、校長先生による英語の土曜授業を是非継続して欲しい。
- 中学生のリーダーシップがもっと発揮できる活動があるとよい。

次年度の方向性についての校長所見

- 1 校長室便りやホームページについて評価していただいて嬉しい。今後も家庭・地域との連携を図るために、家庭・地域への積極的な情報発信と受信を行い、保護者との信頼関係を構築する。
- 2 生徒に自信を持たせる取組を推進するために、生徒に主体性を持たせる活動を積極的、意図的に設定するとともに、生徒会活動を充実させる。
- 3 きめ細かな指導による学力の向上を図るために、学習指導法の工夫改善を図るとともに、望ましい学習態度の定着と家庭学習の習慣化を図る。
- 4 小学校との連携を図るために、小中一貫校を見据え、特色ある教育課程編制や行事の精選を行う。また小学校との交流も工夫改善する。
- 5 保護者のアンケートで低かった部分については、職員に年間を通して意識してもらいながら改善を図っていききたい。
- 6 我が子を見ての保護者アンケートで「子どもは楽しく学校に通っている」についての評価がとても高かった。今後も楽しく充実した学校生活を送れるよう取り組んでいきたい。